



# 「池戸 一成 後援会」会報

## しぶがきつうしん

# 渋柿通信

春号

発行日：平成23年4月10日

発行者：池戸一成後援会事務局

各務原市蘇原柿沢町 1-15

TEL：371-2749

FAX：382-1350

市議会議員となって3年目になります。様々な相談をいただけるようになって、それに伴っているような取り組みを始めています。議員になりたての頃よりも忙しくなってきた、『やりがい』と『責任感』を感じながら、日々の生活に追われています。

また、この春から『経済教育常任委員長』にも抜てきしていただき、先輩議員からは「新人3年目で委員長は前代未聞だよ！」とプレッシャーをかけられています・・・(汗)。

そんな中、前号まで掲載していました『私の主な活動報告』の掲載を今回から取り止めることにしました。これは、実際の活動は個別の相談・要望などの誌面に掲載できないことも多く、一部の行事への参加程度しか書けなくて、以前から掲載に疑問を感じていたからです。

池戸 一成

## 23年度一般会計予算について～417億5千万円の使われ方

### 「歳入の部」(収入の部)

項目	H23	前年	前年比%	
市税	196.8億	196.6億	0.1	市民税・固定資産税・たばこ税など市へ直接入る税金
地方譲与税	4.8億	4.8億	0.0	国が徴収し、市へ配分される税金
地方消費税交付金	13.0億	12.0億	8.4	消費税の一部について、国から市へ配分される税金
地方交付税	22.5億	14.0億	60.7	国から地域格差是正のため交付されるもの※1
国庫支出金	66.7億	61.4億	8.8	国から支払われる補助金など、 <b>子ども手当含む</b> ※2
県支出金	25.6億	22.4億	14.3	岐阜県から支払われる補助金など※3
繰入金	18.0億	26.0億	△30.8	市の貯金(基金)を取り崩したものの※4
市債	29.3億	50.9億	△42.4	国や銀行から借り入れたお金※5
その他	40.8億	40.6億	0.5	
合計	417.5億	428.7億	△2.6	

### 「歳出の部」(支出の部)

項目	H23	前年	前年比%	
人件費	82.3億	84.7億	△2.9	市役所職員の給料や議員の報酬など※6
物件費	70.7億	64.3億	9.9	消耗品類に加え、委託料も含まれる。※7
扶助費	90.3億	84.4億	7.0	生活保護・高齢者福祉・児童福祉などの社会保障費※8
建設事業費	56.8億	75.2億	△24.4	道路・建物などの建設や用地買収※9
公債費	40.9億	42.7億	△4.3	市が借り入れた借金の返済のお金
繰出金	46.3億	47.8億	△3.0	一般会計と特別会計の間でやりとりされるお金
その他	30.2億	29.6億	7.4	
合計	417.5億	428.7億	△2.6	

## 一般会計予算の解説 ～ 福祉の予算が増額 ～

### 《全体的には》

総額が前年度に比べ 11.2 億円減っていますが、22年度に前倒しして行った事業分が 7.7 億円あり、また、東海中央病院の改築助成金が 8 億円減ったことを考えると、実質的には昨年度と同規模の予算ということになります。

### 《収入について》

税収が横ばいにある中、前年度に比べて<sup>※5</sup>銀行などからの借入額を、21.6 億円減らして、臨むものになっています。これは、中山道鶉沼宿整備のための合併特例債や臨財債の借り入れが減ったことと、<sup>※1</sup>国から交付される地方交付税の大幅な増額があるからです。

<sup>※2</sup>国からの補助金などが 5.3 億円増えているのは、子ども手当の 3 才未満児に対する上積みなどがあったことによります。

<sup>※3</sup>県からの補助金などが 3.2 億円増えているのは、子宮頸がん等の予防ワクチン補助のためです。

<sup>※4</sup>貯金を取り崩す額は、前年度に比べ 8 億円減っていますが、主に東海中央病院の改築助成金が減ったことによります。

### 《支出について》

ここ数年、<sup>※6</sup>人件費は減少し続けている当市ですが、今年度も 2.4 億円減少しています。

<sup>※7</sup>物件費が増額になっているのは、従来の市役所業務の民営化などが進み、委託料が増えたためです。

昨年度に引き続き、<sup>※8</sup>福祉に関するの予算が増額になっています。子ども手当の上積みや生活保護費などの増加が影響しています。

<sup>※9</sup>建設事業費が大幅な減額となっていますが、リサイクルセンターの建設完了、東海中央病院の改築助成金の減などによるものです。

「歳出の中で主な事業」（網掛け欄は、昨年より減額された事業）

項目	金額	
子ども手当・児童手当	33.9 億	3 才未満児に対する上積み分 3.05 億増額
各務原大橋建設	25.2 億	総額約 123 億円の工事。本年度は橋が架かります！
福祉医療対策	15.7 億	重度障がい者医療 7.53 億、子ども医療 6.36 億など
北清掃センター管理	14.3 億	施設運転管理・保守点検委託、コークス購入など
障がい者自立支援	11.9 億	介護・訓練など 9.88 億、地域生活支援 1.02 億など
生活保護扶助	10.9 億	医療扶助、生活扶助、住宅扶助など
私立保育所運営	9.1 億	委託費
道路新設改良	6.6 億	国交省 3.63 億、防衛省 1.93 億、市単独 0.95 億、県道 0.10 億
情報化推進	6.5 億	各種情報システムの保守、機器リースなど
道路維持補修	5.4 億	道路舗装、側溝補修、清掃作業委託など
ごみ処理	5.1 億	ごみ収集 4.29 億など
中小企業金融対策	5.0 億	市内中小企業に対しての小口融資の利子、保証料の助成など
予防接種	4.8 億	インフルエンザ、日本脳炎、子宮頸がんなど
土地区画整理	3.1 億	都築紡績跡地など
教育指導研究	2.2 億	各務野吹奏楽アカデミーなど
公園整備・維持補修	2.0 億	尾崎東、浜見、つつじが丘、前渡、ふるさと広場、市民公園トイレなど
小計	161.7 億	
一般会計合計	417.5 億	

## 「音楽の街」の次は「本の街」

「音楽の街 かかみがはら」に引き続き、本年度から「本の街 かかみがはら」が推進されます。もともと当市は読書人口が多いといわれていて、小学生の平均は年 66 冊以上、中央図書館の蔵書冊数、貸出し冊数も人口同規模の他都市と比べても、かなり多いようです。

英国のヘイ・オン・ワイにヒントを得て、今年から取り組む当市の施策の柱のひとつです。

「ほとんど無資源国の日本が先進国になったのは、日本人の知力と勤勉さからです。この伝統を未来に継承しなくてはなりません。知力は読書から・・・本は人類の英知の宝庫です。受動的な映像と違い、本はこれらの知恵を自らの意欲で得て、考え、想像し、夢と志を育み、憩いと潤いを与えます。」

(市長談より抜粋)



### イギリスにある『本の街』ヘイ・オン・ワイ

ウェールズの山あいにあるヘイ・オン・ワイ(HAY-ON-WYE)。人口約 1,500 人の小さな町です。

レンガの家、小さなお城があって、川が流れ、なだらかな丘では羊や牛が草を食<sup>は</sup>んでいるのどかな町。30 軒以上の古書店が並んでおり、年 2 回の古本市には、全英国から古書が集まり、全英国から人が集まるそうです。

一般に古書店街は、東京神田のような大都市にできますが、交通の不便な田舎で成り立っている珍しい例です。1961 年にリチャード・ブースが始めた 1 軒の古書店から始まった地域おこしの先駆的事例。

### 各務野吹奏楽アカデミーってご存知ですか？

当市では 20 年度より、楽器ごとにプロの指導者を招いて、市内中学校が合同で、実技指導を受ける事業や、中学校指導者の指導技能を高めるためのスキルアップ支援事業などを行ってきています。スタートした年の全日本吹奏楽コンクールで県大会出場は、市内中学校 8 校中 4 校であったが、昨年は 6 校と増え、那加中においては県知事賞を受賞、県下 67 校の頂点に立ち、更にそれ以外に 3 校が金賞を受賞しました。また、東海アンサンブル大会では、県内の 100 を超えるチームの中、東海大会に進んだ 6 チーム中 2 チームが各務

原市のチームで、このいずれのチームともベスト 3 に入賞しました。3 年間のこの事業を継続してきて、間違いなく市内中学校の吹奏楽が県内でトップになってきました。

その子たちが卒業し、音楽を続けければ、益々『音楽の街』になっていくでしょう。他の都市より優れた、特徴ある街づくりは、戦略的に進めて行くべきと考えます。

『本の街』と並行して続きます。

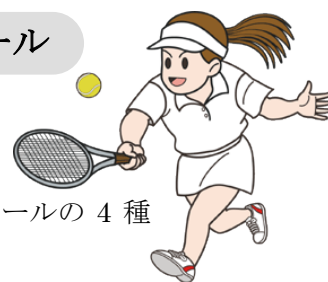


### 未来のアスリートを！～各務野スーパースポーツスクール

各務原市では、スポーツの特別講座を開催して、生徒や指導者のレベルアップを支援しています。

本年度は希望の高いソフトテニスに加え、バスケット、サッカー、ハンドボールの 4 種目に対して行う予定です。

講師には、各種目のトップコーチやトップアスリートを招きます。



## 「もしも」に備えた体制づくり～防災人づくり講座

災害発生時、最も重要な初動体制は、住民による自主防災活動ではないでしょうか。

その要となる『リーダー』の役割は、自治会長や班長などの方々になるかもしれませんが、それらの役職は毎年交代している地域が多く、いざという時に自主防災体制が機能するかどうか不安があります。

そこで、いつ災害がきても、住民が主体的に地域防災活動に取り組み、助け合いながら、自分たちの生命・財産を守ることができる体制を、継続的にできるように、地域防災の『リーダー』を決めて、育てていく必要がでてくると考えます。

市では、今年度から、このような『地域の防災リーダー』を育成する手助けとして、『(仮称)防災塾』を実施する予定です。この講座では、防災の基礎知識、図上による実施訓練、消火器・炊き出し・家具転倒防止作業などの実施訓練など、5～6日間かけて開催される充実した内容の予定です。

各務原には自衛隊勤務の方々も多くいらっしゃるのですが、いざというとき心強いですが、正しい知識を持った方がリーダーとなった組織を、自治会ごとに考えておくことは、これから取り組んでいかなければいけないことでしょう。

## “市民会館”耐震化でリニューアル

市民会館が耐震化に伴ってリニューアルされます。主な整備の内容は、耐震補強工事、客席椅子交換、ホワイエトイレ・床改修工事、外部階段工事などを予定しています。トイレは洋式タイプに変わります。



## 犯罪や事故は無縁ではありません！

9月議会に私が質問・要望をした犯罪被害者に対する支援策が、4月より始まることになりました。市民相談窓口にて、各務原警察署ならびに公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センターと連携して、相談窓口が開設します。

現実に犯罪や事故は私たちの周りで起こっています。被害者やその遺族は、思いがけず被害にあった方々で、決して私たちの遠く離れて住む方々ばかりではありません。

そして、この方々は、生命を奪われたり、家族を失ったり、傷害を負わされたり、財産を奪われ

たりといった、いわゆる目に見える被害だけでなく、事件や事故の後も、長きにわたって、精神的な被害を重く受けています。

例えば、それは、再被害の不安にさいなまれたり、捜査・公判等の過程で、精神的な負担を強いられたり、風評被害に遭ったり……。地域から孤立してしまう方々も少なくないそうです。

防犯、交通安全は大切です。しかしながら、不幸にも起こってしまった事件の後、その被害者に救いが差し伸べられる世の中にしなくてはなりません。

## ホームページ (HP) ・ ツイッター 更新中！

- 市政や地域の情報などの報告。
- HPは“池戸一成”で検索 もしくは <http://ikedo.info>
- ツイッターは“kazu\_ikedo”で検索

池戸一成

検索

